

## はじめに

21世紀は「知識基盤社会」と言われ、新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる領域の基盤として飛躍的に重要性を増しています。しかも、知識・技能は陳腐化しないよう常に更新する必要があるため、誰もが生涯にわたって学び続けることを求められています。このような急激な社会変化の中で、その変化に対応する「生きる力」を養う学校の役割は、ますます重要になるとともに、その教育課題は多様化・複雑化・高度化しています。

教職員一人一人の力量や学校全体の組織力を向上させ、これらの諸問題を解決する力を養うために、和歌山県教育センター学びの丘では、「教職経験年数に対応した研修」や「専門性の向上を目指す研修」の充実を図ること、学校現場と共同して研究に取り組み、その成果を各学校に還元すること、市町村の依頼や学校の課題に応じた支援を行い、学校の教育力の向上を図ることに力を入れ、様々な事業に取り組んでいます。

本誌では、上記の3つの柱「研修の充実」「研究の推進」「学校への支援」の中から、「研修の充実」「学校への支援」に関する研究を収録しています。

まず、「研修の充実」では、本県で平成26年度から実施している特別支援教育の基礎・基本研修に関して、教員の専門性や特別支援教育に対する教員の意識調査を考察した「和歌山県における特別支援教育の推進について－基礎・基本研修の実施－」他2編を収録しています。

また、「学校への支援」では、当センター学校支援事業の1つである「学びサポート」の実施内容を分析し、支援について考察した「教育センターが実施する『学校に基礎をおく短期的あるいは回数制限的な学校支援』についての一考察」や、集団づくりを軸とした学級経営の取り組み方について考察した「学級経営に関する一考察－学級集団づくりを通して－」も収録しています。

これらの内容が、日々の教育実践の参考となり、本県教育の充実につながることを願うとともに、ご高覧の上、ご意見・ご指導をいただければ幸いです。

平成27年3月

和歌山県教育センター学びの丘

所長 上野 晃